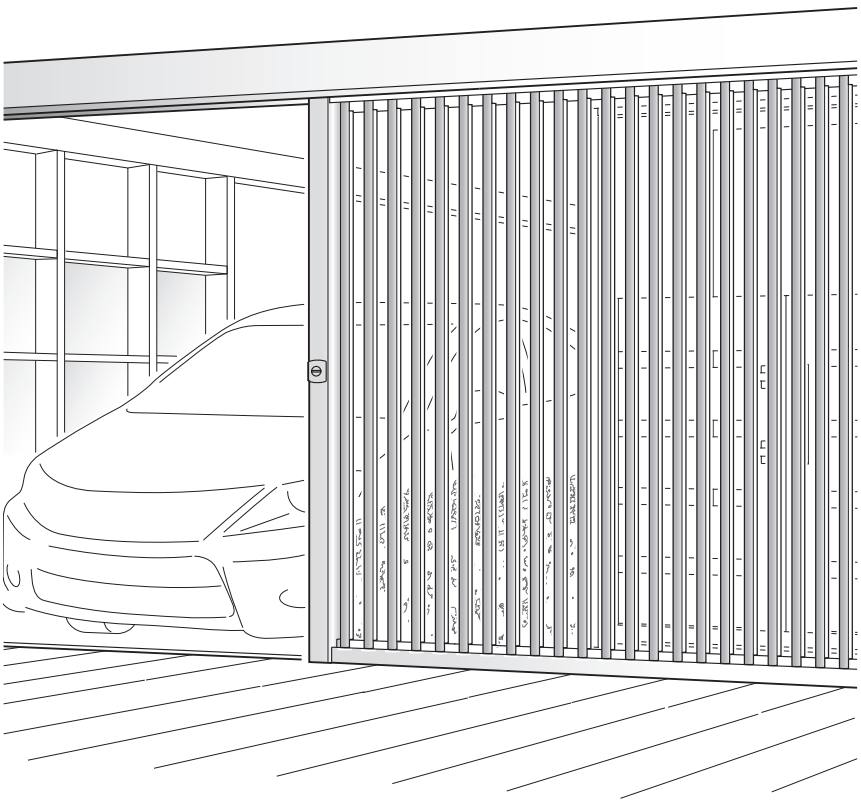
LIXIL

取扱説明書

Gスクリーン

G リニア吊引戸



この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠警 告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠注 意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

行なってはいけない内容です。

必ず実行していただく内容です。

お願い　取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

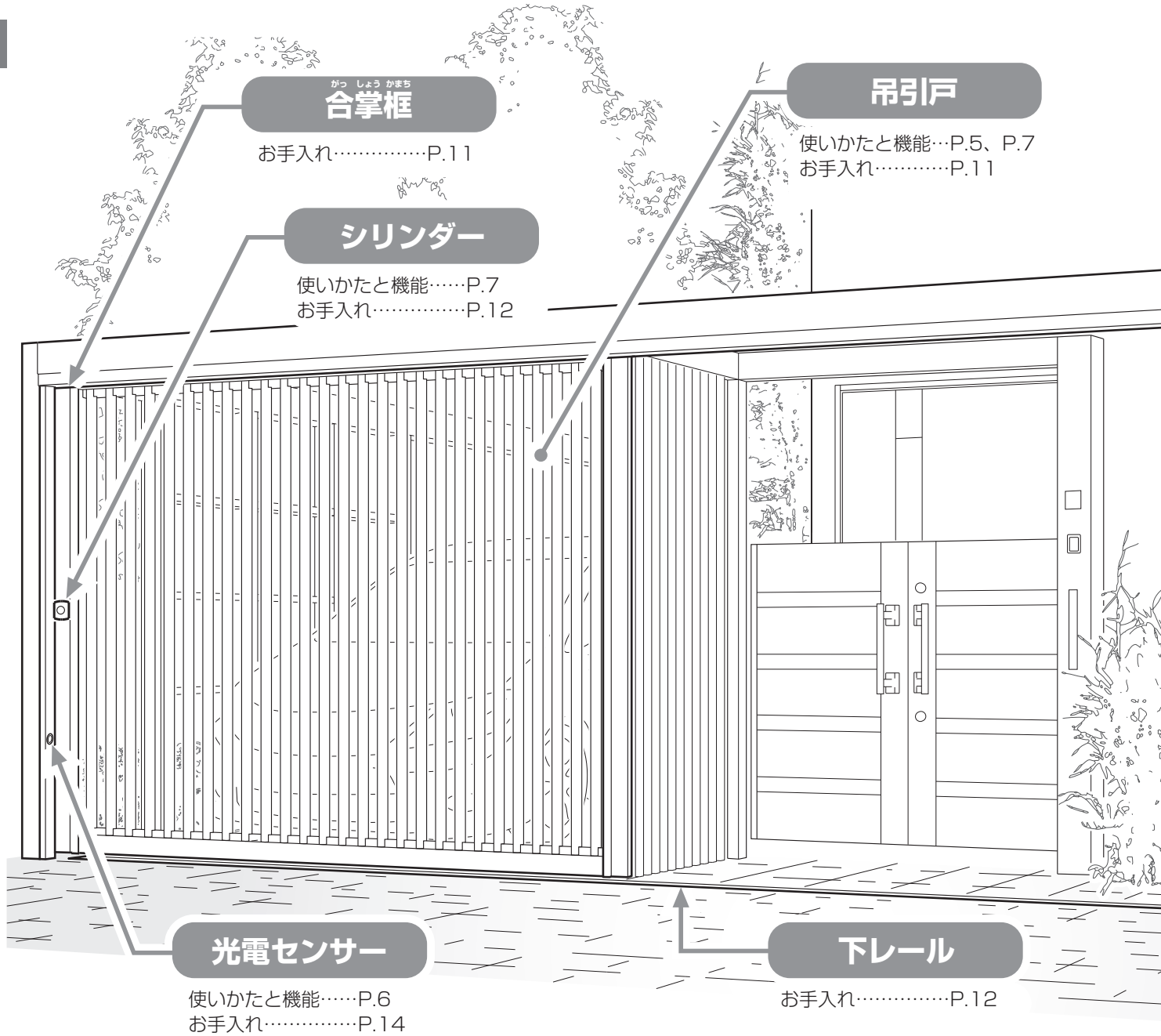
もくじ

	ページ
安全上のご注意	15
リニア吊引戸での空間演出	1
使いかたと機能	5
●リモコン	5
●電磁ロック	6
●押ボタンスイッチ、外部押ボタンスイッチ（オプション）	6
●安全補助装置について	6
●手動による操作について	7
●吊引戸、錠、シリンダー	7
●電源OFFのしかた	8
●電動操作への戻しかた	8
リモコンの登録・登録抹消	9
お手入れ	11
●製品全体、アルミ部のキズの補修	11
●シリンダー、下レール	12
●電磁ロック	13
●リモコンの電池交換	13
●上レール、光電センサー	14
故障かな!?と思ったら	19
修理と保証	21
仕様	22
保証書	23

保証書付き

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

リニア吊引戸での空間演出

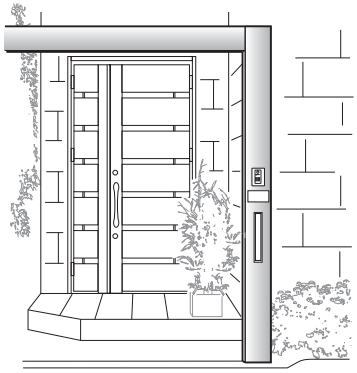


演出アイテム

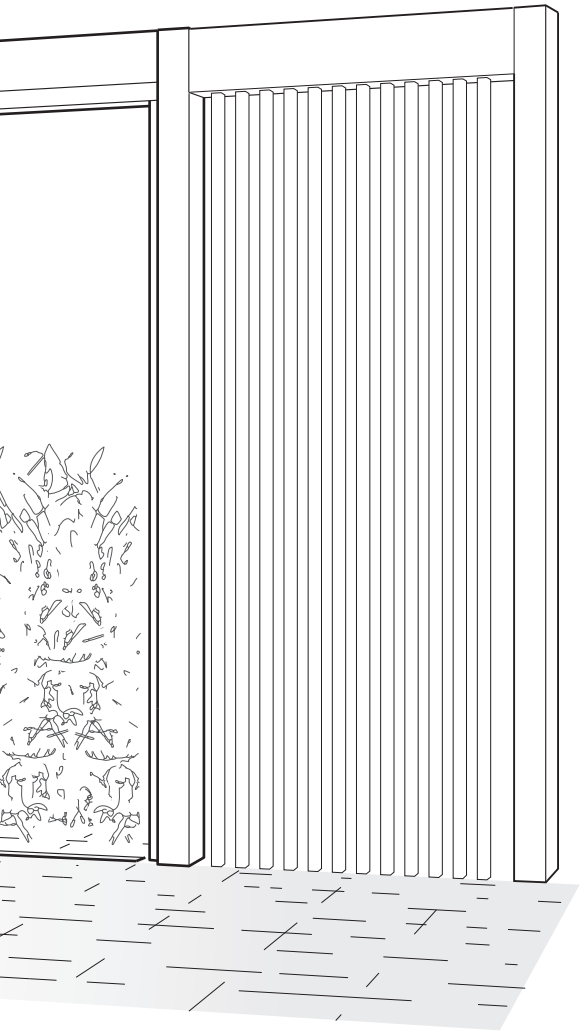
●G ルーフ天井材＋LED 照明

欲しい所に屋根を取付けられ、LED による光の演出も可能です。

●ファンクション柱

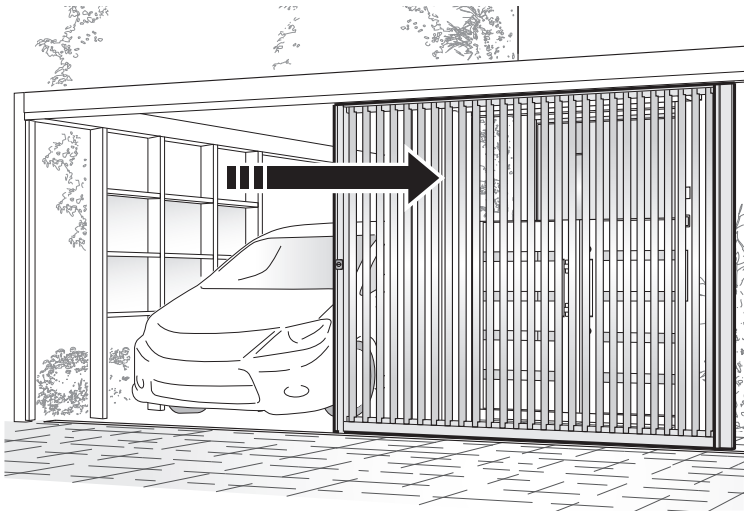


インターホンやポストなどの必要な機能を柱に装備。狭小地での敷地有効活用に役立ちます。



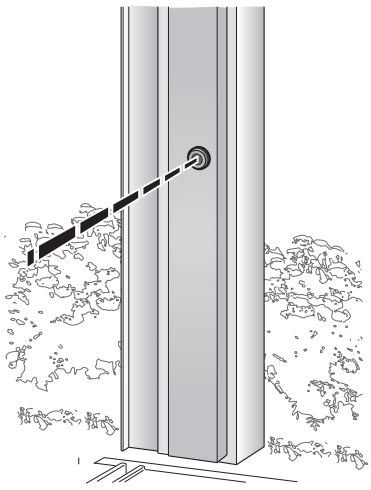
リニア吊引戸でアプローチと カースペースを同時にデザイン。

お好みの玄関まわりを実現します。
アプローチ側に吊引戸を引込むことで省スペースを実現。狭小地にも最適です。

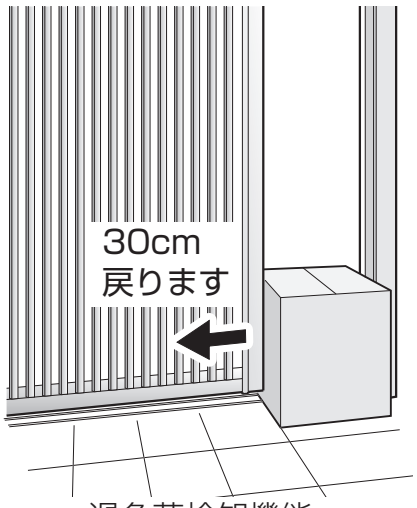


二重の安全性

障害物を感知すると自動停止する光電センサーと
障害物に接触すると停止する過負荷検知機能付き



光電センサー

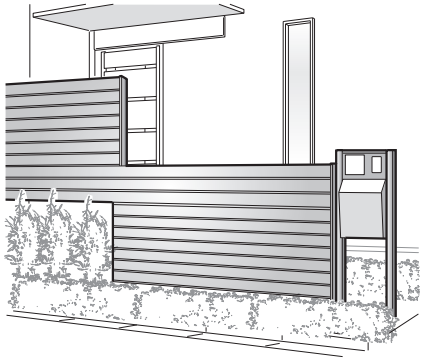


過負荷検知機能

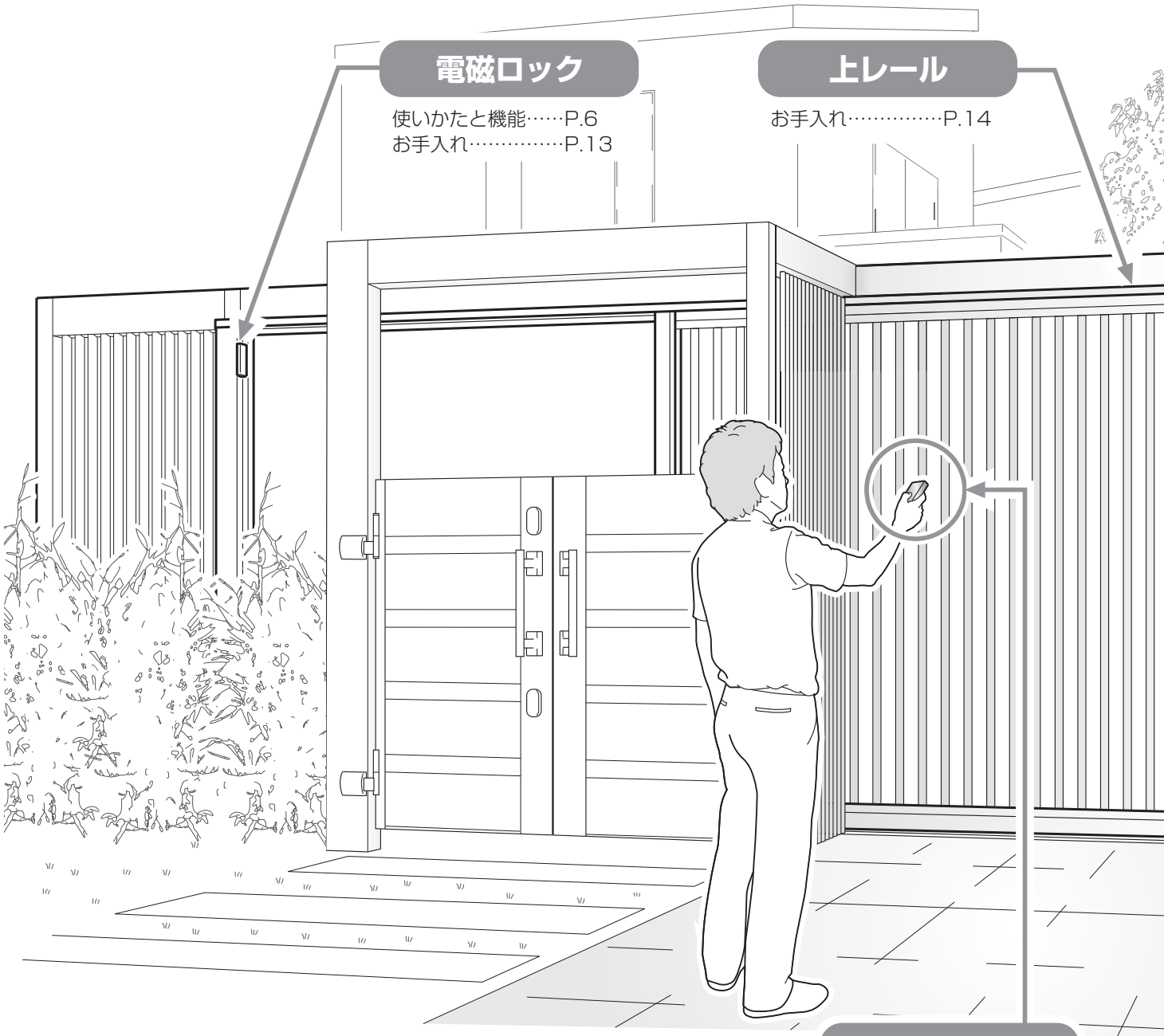
●G スクリーン　角格子タイプ

敷地を間取り、プライベート空間への目隠しとしても活用できます。

●デザイナースパーツ

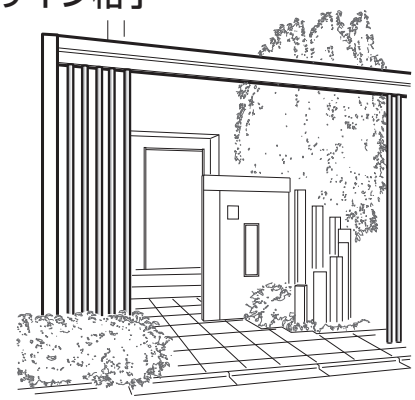


玄関前を個性的に演出できます。



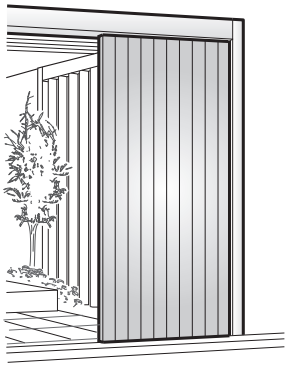
演出アイテム

●デザイン格子

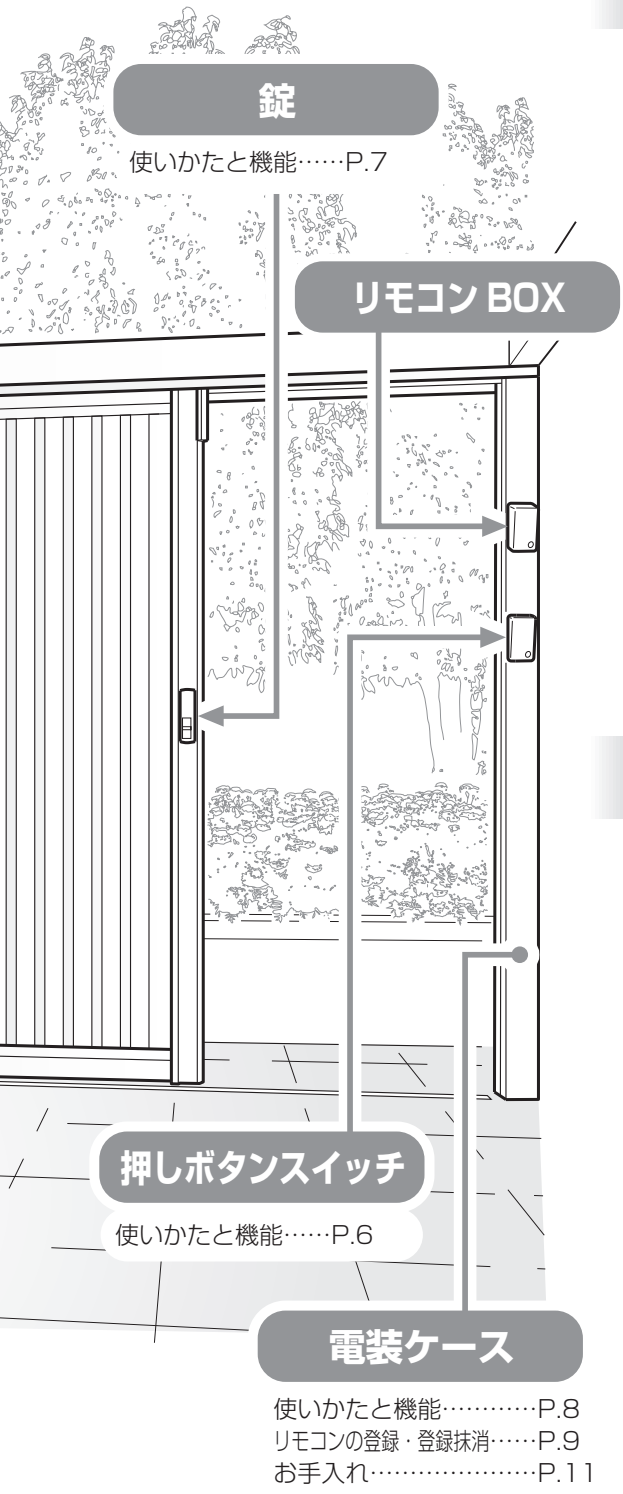


フレームの下に、1本単位で自由な位置で取付けできます。

●デザイン板塀

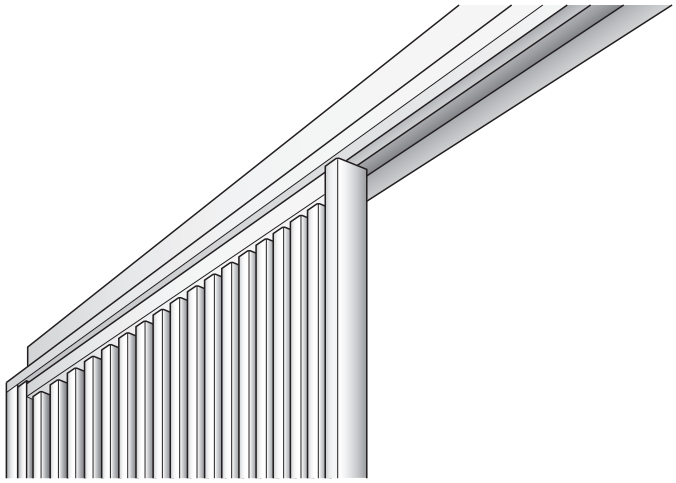


玄関前などの目隠しやデザインアクセントに最適です。



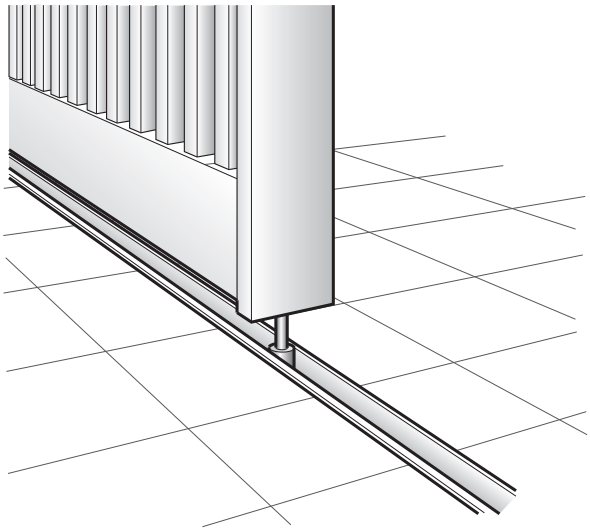
リニアモーターによる静かでスムーズな動作

車輪等の機構をもたない為、従来の回転モーターよりも音が静かでスムーズです。

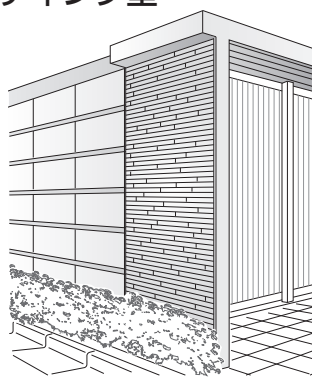


ユニバーサルデザイン

埋込み式の下レールを採用することで、フラットな仕上がりとなり、歩行の支障になりません。



●サイディング壁



住まいに落ち着いた雰囲気を与えます。

その他にも…

（別売り品）

●外部押しボタンスイッチ（KUK51）
吊引戸を道路側や離れた場所から操作したいときに

●リモコン（追加用）
リモコンを増やしたいとき、破損・損失したときに

（補修品）

●補修塗料
キズをつけたときの補修に

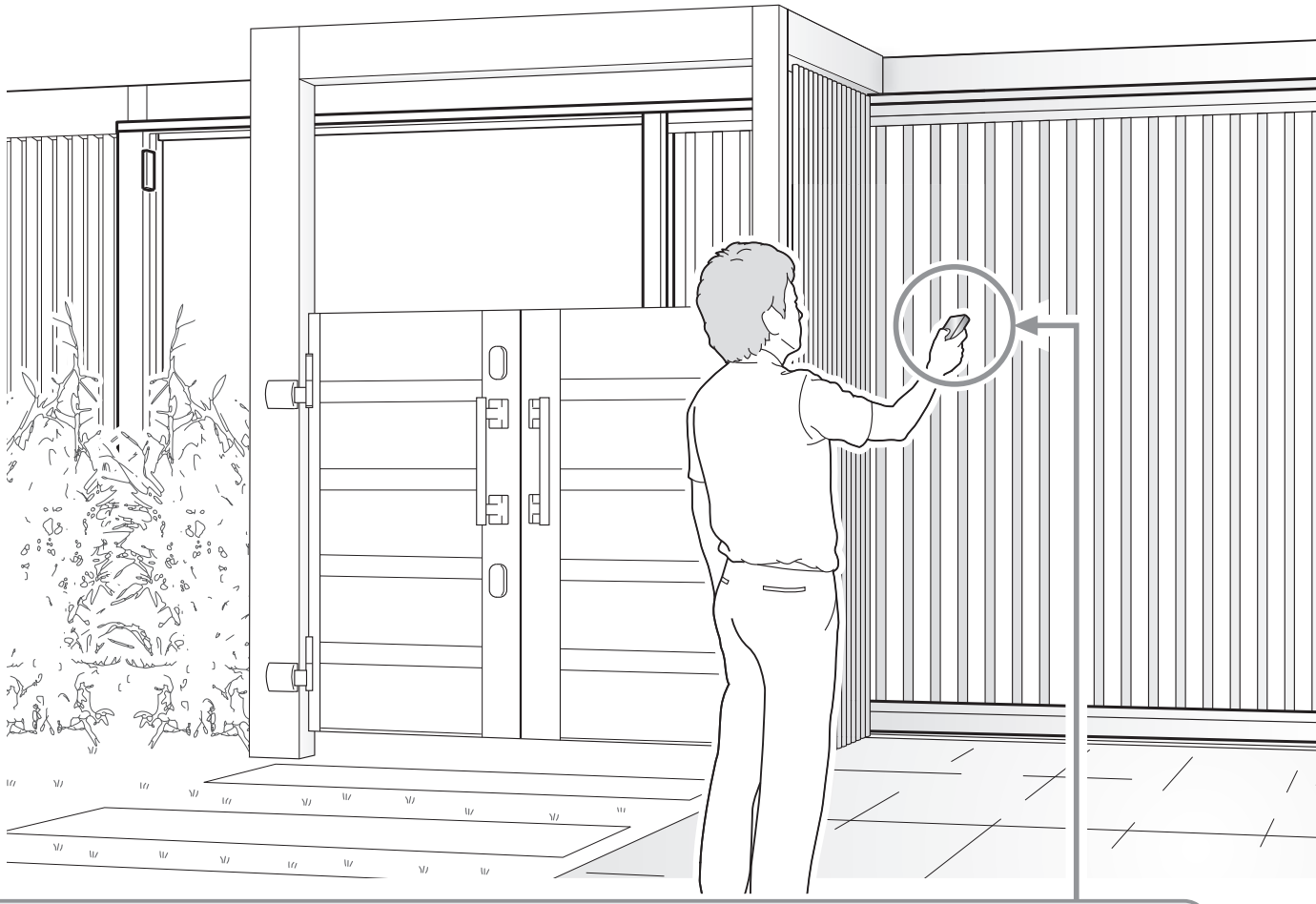
目的にあわせてご利用ください。

使いかたと機能

吊引戸を操作するときには…

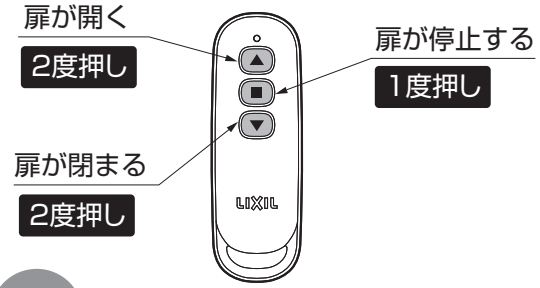
お願い 製品の破損や故障の原因になります。下記事項をお守りください。

・風が強いときは無理に開閉操作をしないでください。
・作動中に手をかけて早く動かすなど無理な操作をしないでください。
・レールにたまった水が凍結した場合は、必ず溶けてから開閉してください。



リモコン 操作のしかた

お願い ・リモコンを床に落としたり、衝撃を与えないでください。破損や故障の原因になるおそれがあります。

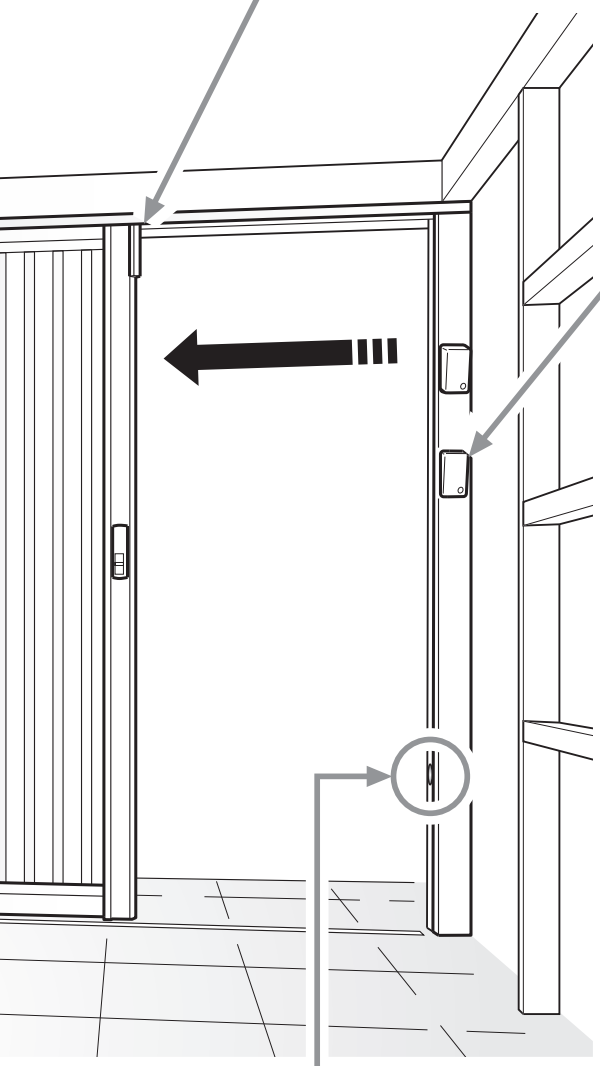


補 足
・作動途中で一時停止させるときは「■」ボタンを押してください。
・一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。
・安全上「■」ボタンに限り１回押すだけで送信します。

補 足
・リモコン送信器の到達可能距離（目安）は約30メートル以内です。
・「▲」または「▼」ボタンの2度押し間隔が２秒を超えると送信されません。
・「▲」・「▼」作動中に逆方向の操作をするときは、必ず一度「■」ボタンを押してください。

電磁ロック

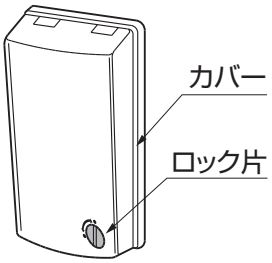
お願い ・電磁ロックの保持力は風速30M/s相当です。強風時には手動で施錠してください。



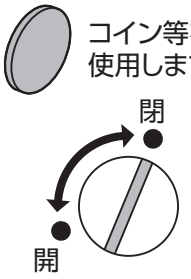
押ボタンスイッチ 外部押ボタンスイッチ (オプション)
操作のしかた

補 足 ・押ボタンスイッチは、非常時やリモコンの電池切れ時などに使用してください。
通常はリモコンでの操作をおすすめします。

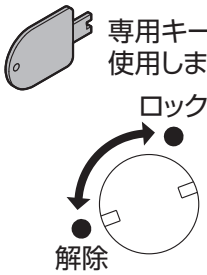
カバーの開けかた



(押ボタンスイッチの場合)

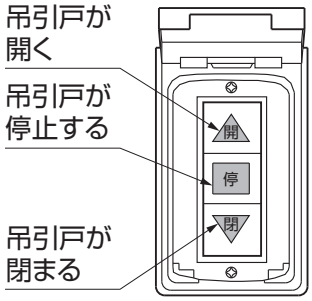


(外部押ボタンスイッチの場合)



お願い ・使用しないときはロックしておいてください。

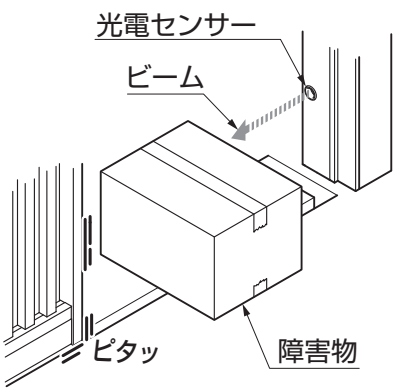
ボタン操作のしかた



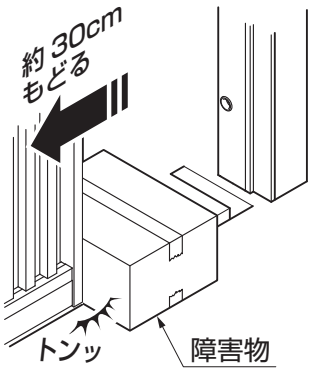
補 足 ・作動中に逆方向の操作をするときは、一度「停」ボタンを押してください。

安全補助装置について

光電センサー：
障害物を感知すると自動停止します。



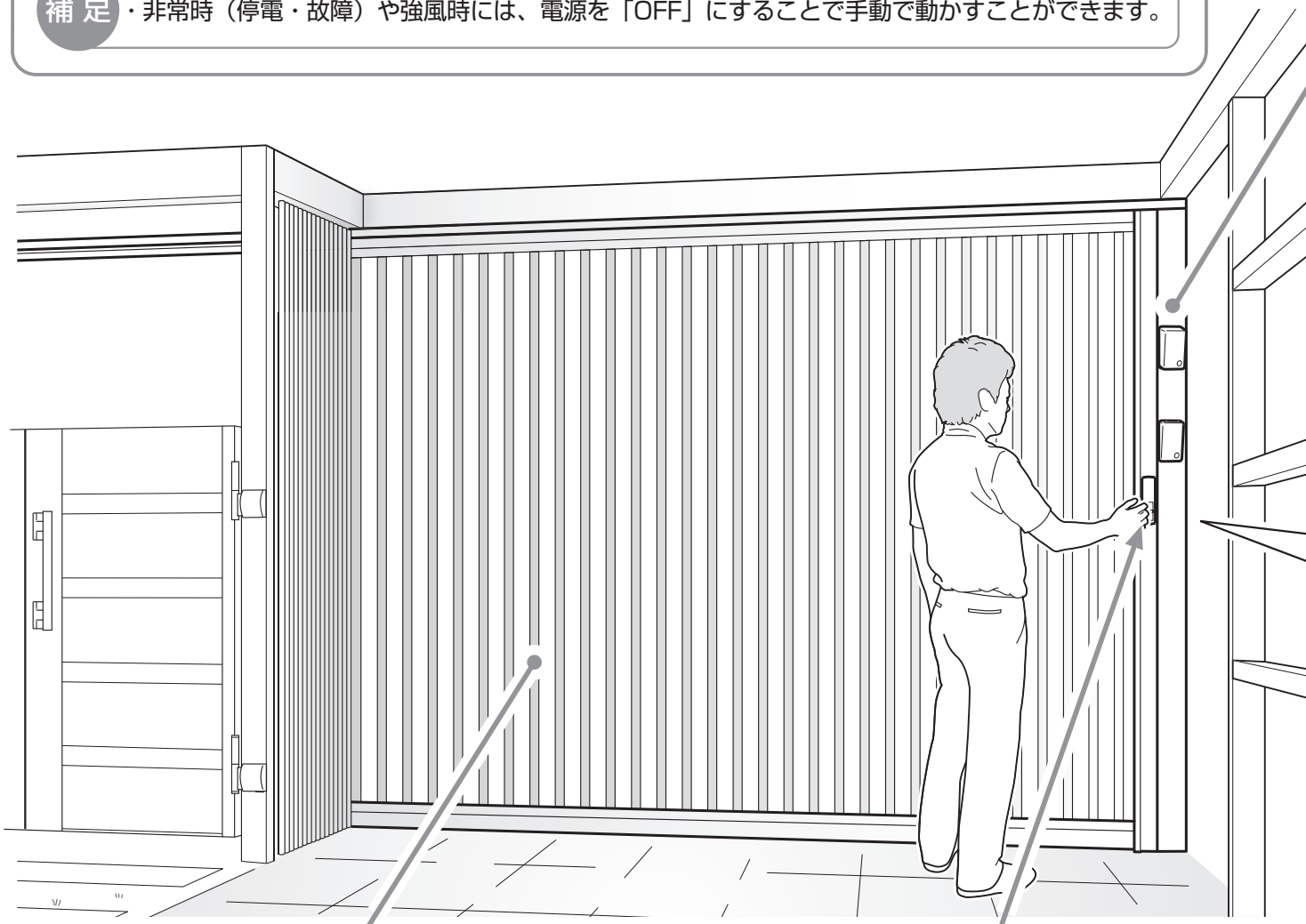
過負荷検知機能：
障害物に接触すると停止します。



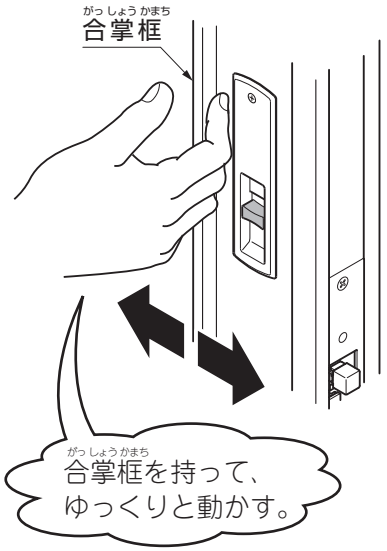
お願い ・強風時には風の抵抗を障害物として感知し、装置がはたらく場合があります。
むやみに作動させると部品の破損や故障の原因になりますので、風が弱まってから作動させるか手動に切替えてから操作してください。

手動による操作について

補 足 ・非常時（停電・故障）や強風時には、電源を「OFF」にすることで手動で動かすことができます。

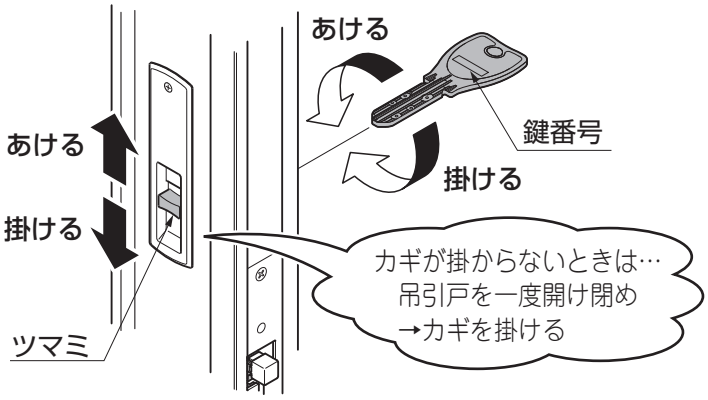


吊引戸
開けかた、閉めかた



お願い ・乱暴な操作はしないでください。
製品の故障原因になります。

錠、シリンダー カギのあけかた、掛けかた

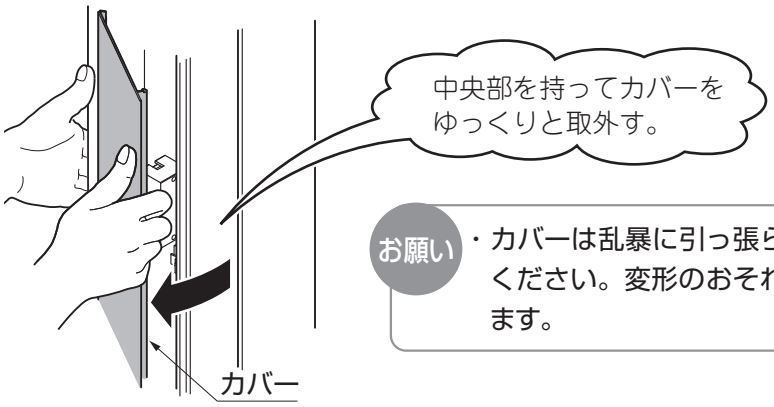


お願い ・在宅時は必ずキーがある事を確認してください。
・キーに刻印している番号（英数字）を控えてください。紛失時はこの番号で発注してください。鍵番号が不明の場合、錠ユニットごと交換になります。

鍵番号	

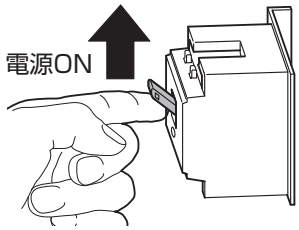
・スペアキーをお求めの場合は、キーと同梱包のご案内用紙をご覧頂き、お買い上げの販売店（工事店）にお問い合わせください。

電装ケース 電源OFFのしかた

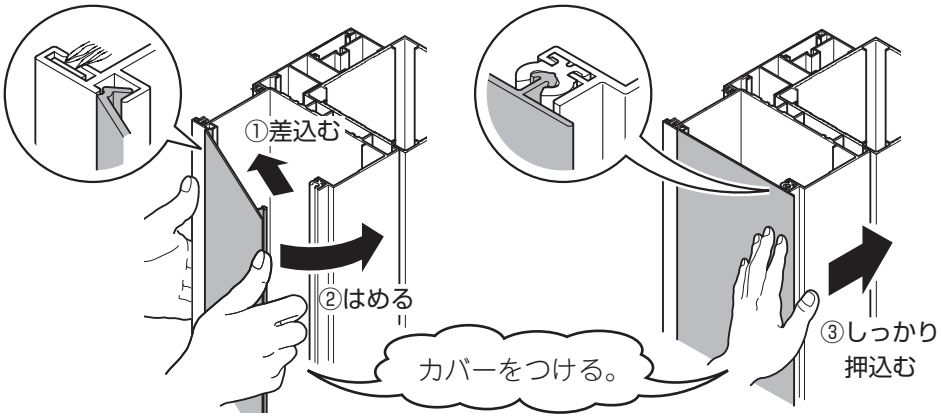


お願い
・カバーは乱暴に引っ張らないでください。変形のおそれがあります。

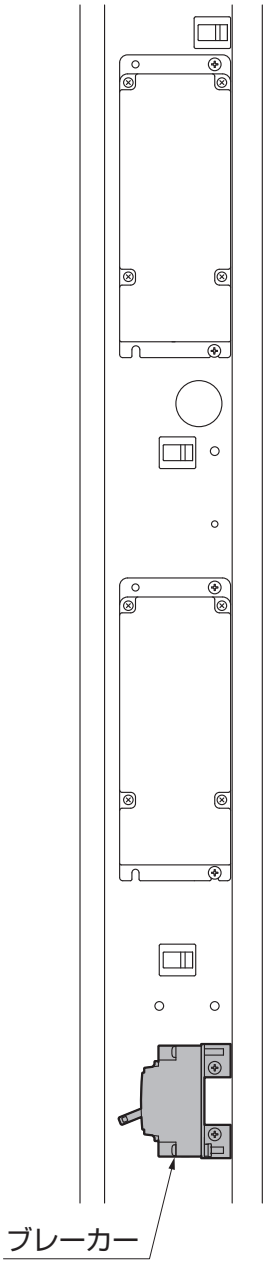
補 足



・ブレーカーのスイッチを上げると電動操作に切り替わります。

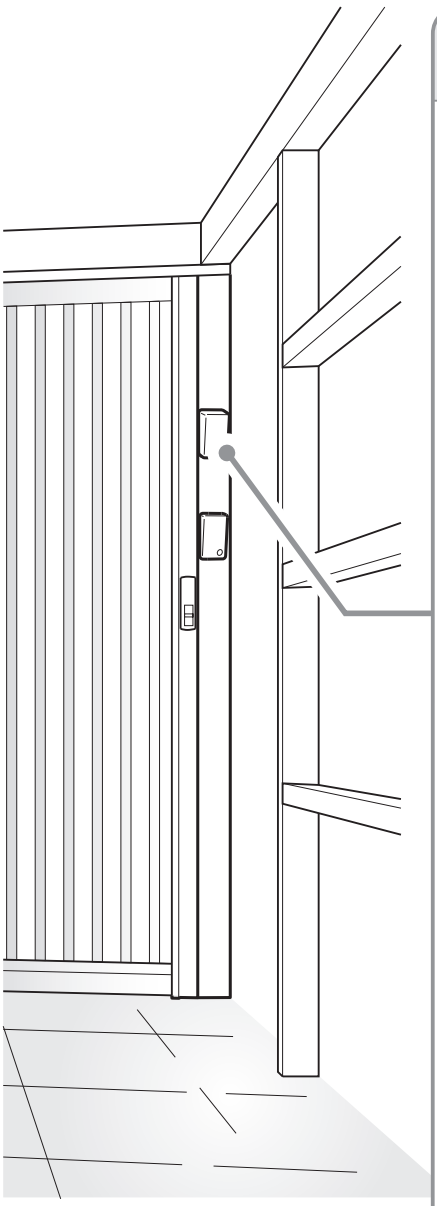


電装ケース内部

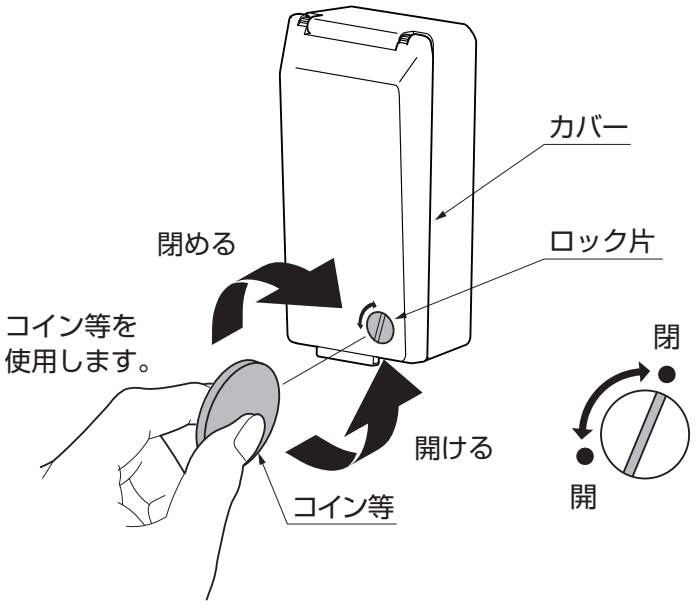


電動操作への戻しかた

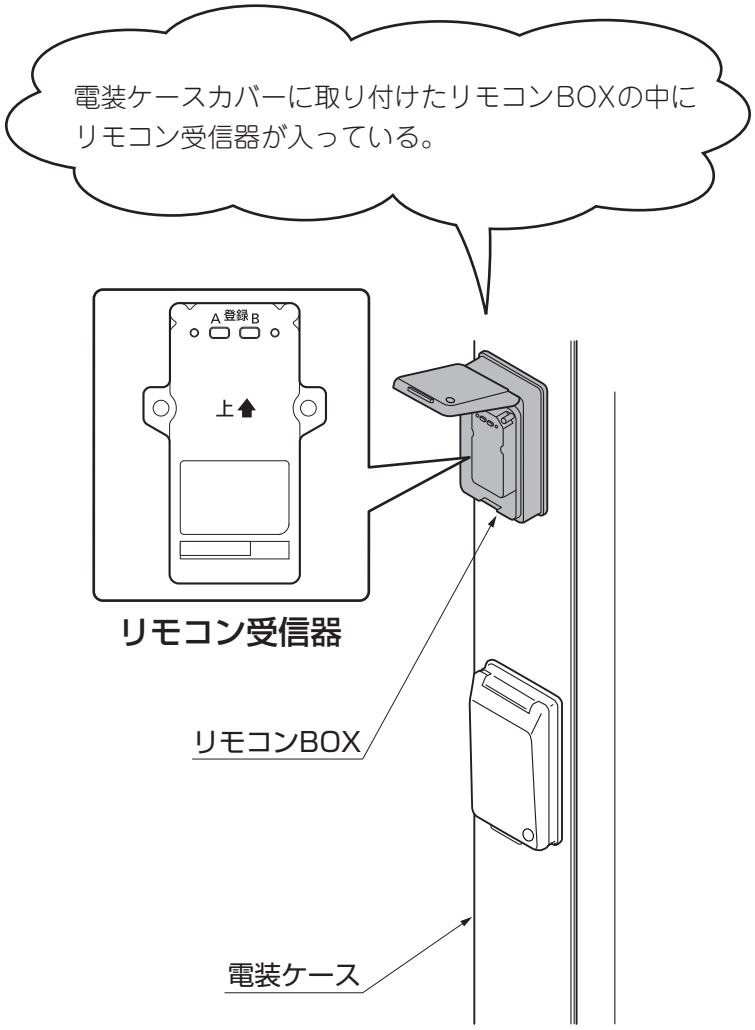
リモコンの登録・登録抹消



リモコンBOX カバーの開けかた

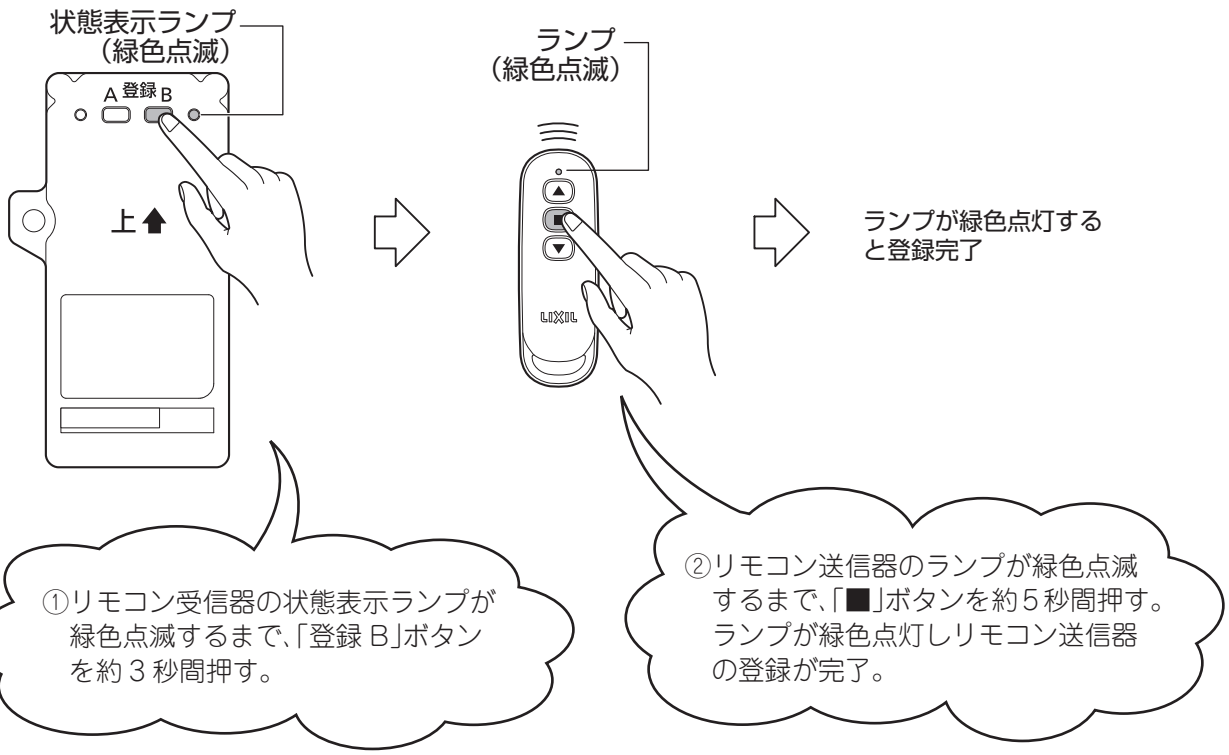


お願い ・使用しないときはロックしておいてください。



登録のしかた

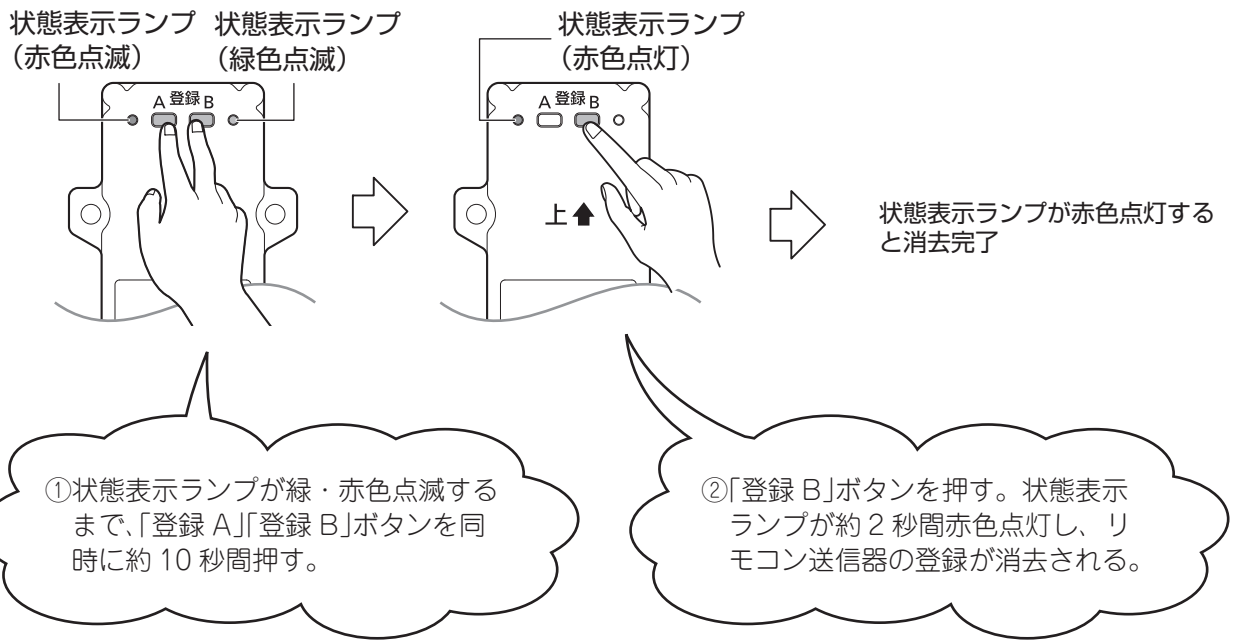
※追加登録する場合も同様の方法になります。



補 足
- 2台以上登録する場合は、①と②の作業を繰り返してください。
- リモコン送信器は、16台まで登録可能です。17台目は登録できません。使わなくなったリモコンを入れ替える場合は、リモコン受信器を初期化し、再度登録してください。

登録抹消のしかた

※登録されているすべてのリモコンを消去します。

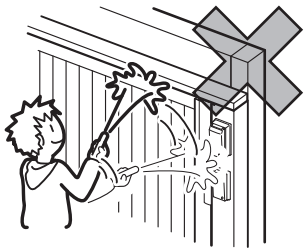


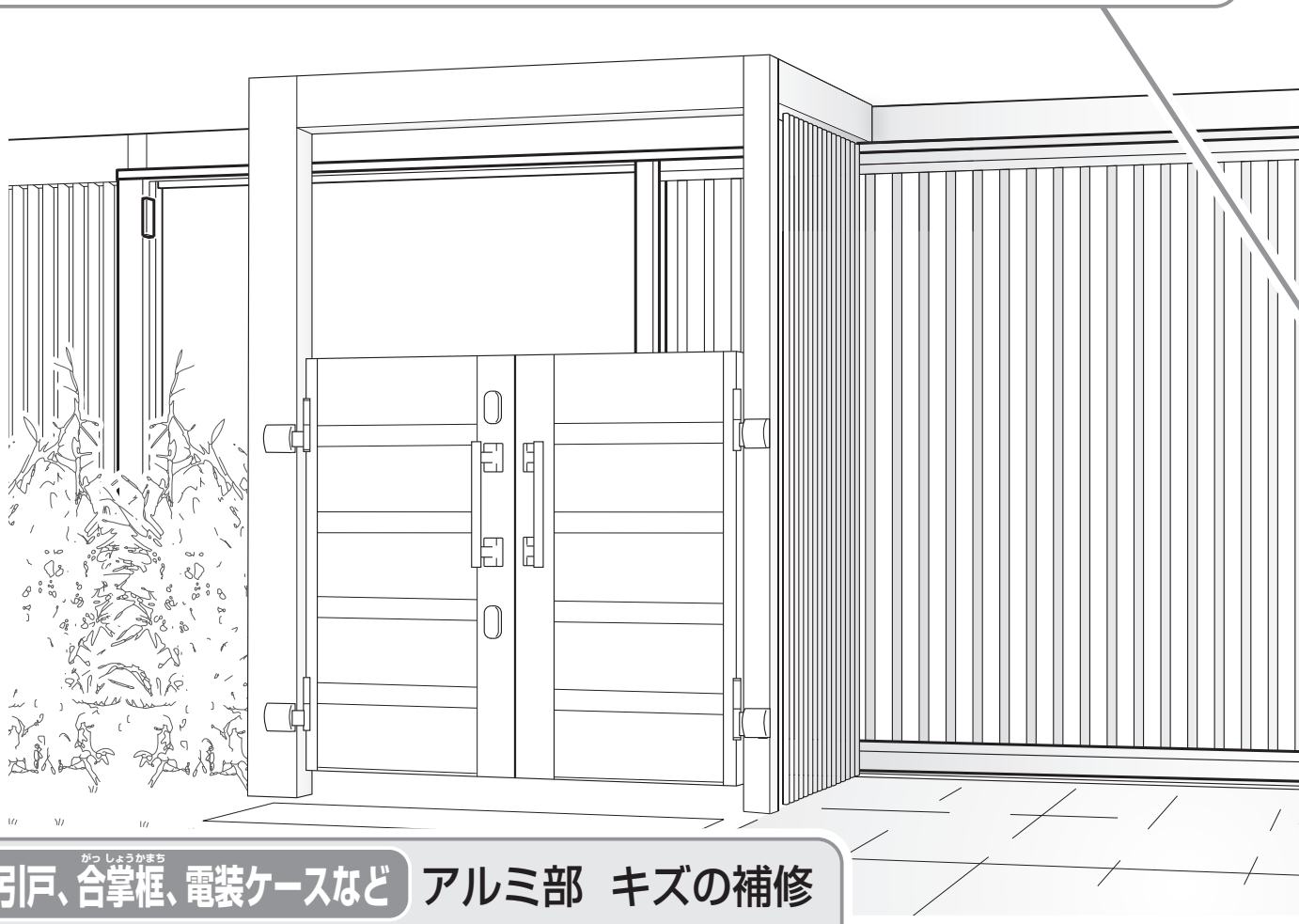
お手入れ

吊引戸、合掌框、電装ケースなど　製品全体　お掃除：定期的に

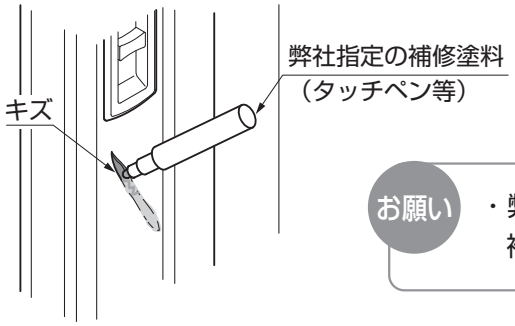
お願い

- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはがれるおそれがあります。
- フレーム、電装ケース内に直接ホースで水をかけて水洗いはしないでください。製品の故障原因になります。



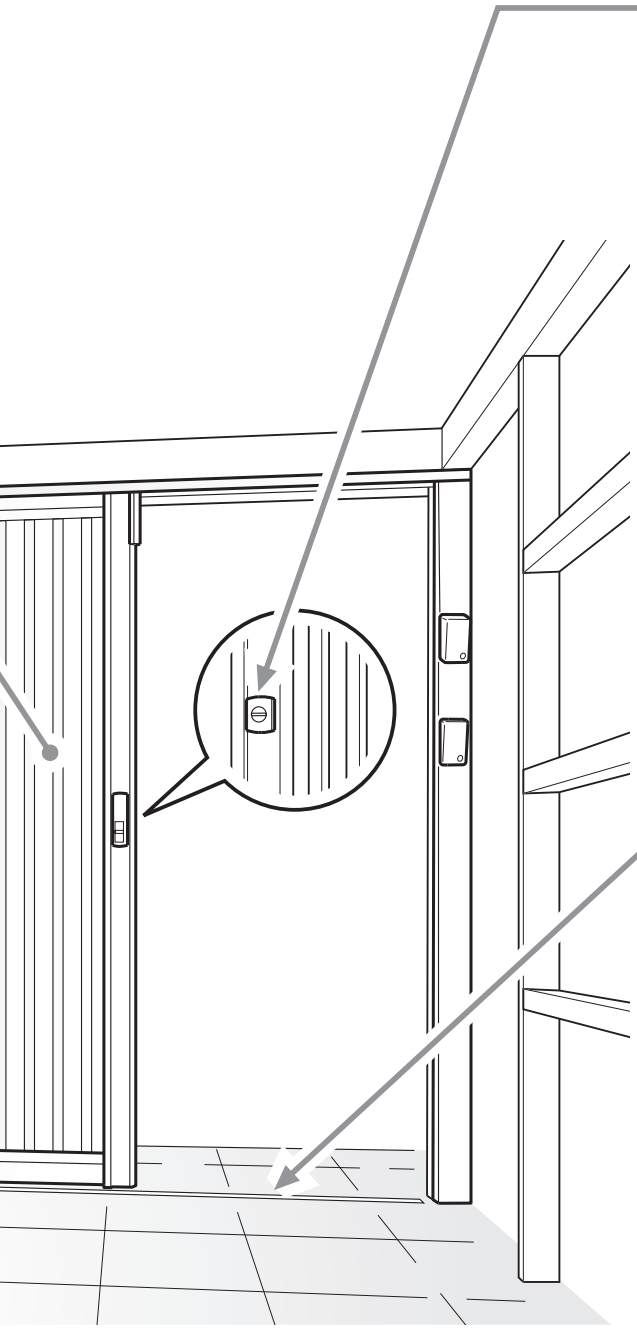


吊引戸、合掌框、電装ケースなど　アルミ部　キズの補修

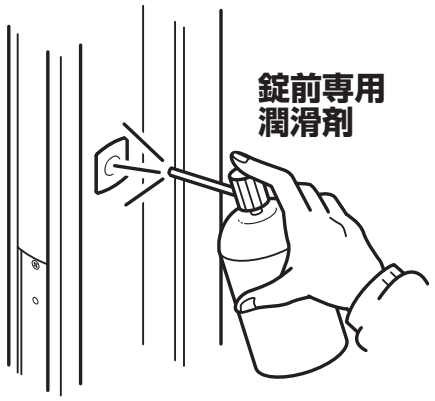


お願い

- 弊社指定の補修塗料で補修してください。



シリンダー お手入れ：定期的に



お願い

・鍵穴には錠前専用潤滑剤を注入してください。
合成潤滑剤は使用しないでください。

合成潤滑剤

下レール お掃除：定期的に

お願い

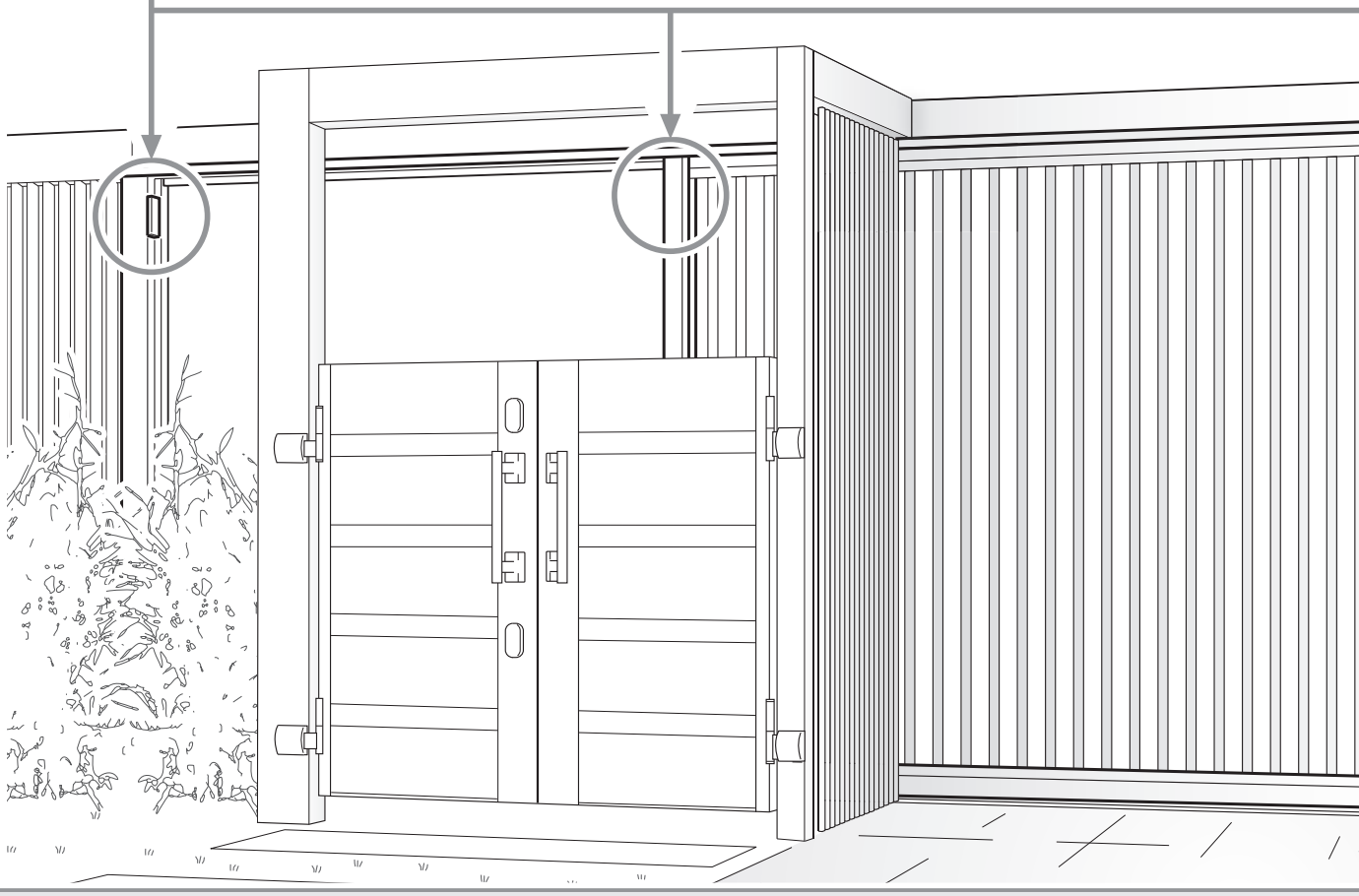
・下レールや排水溝に溜まったゴミは定期的に清掃をして取除いてください。

補 足

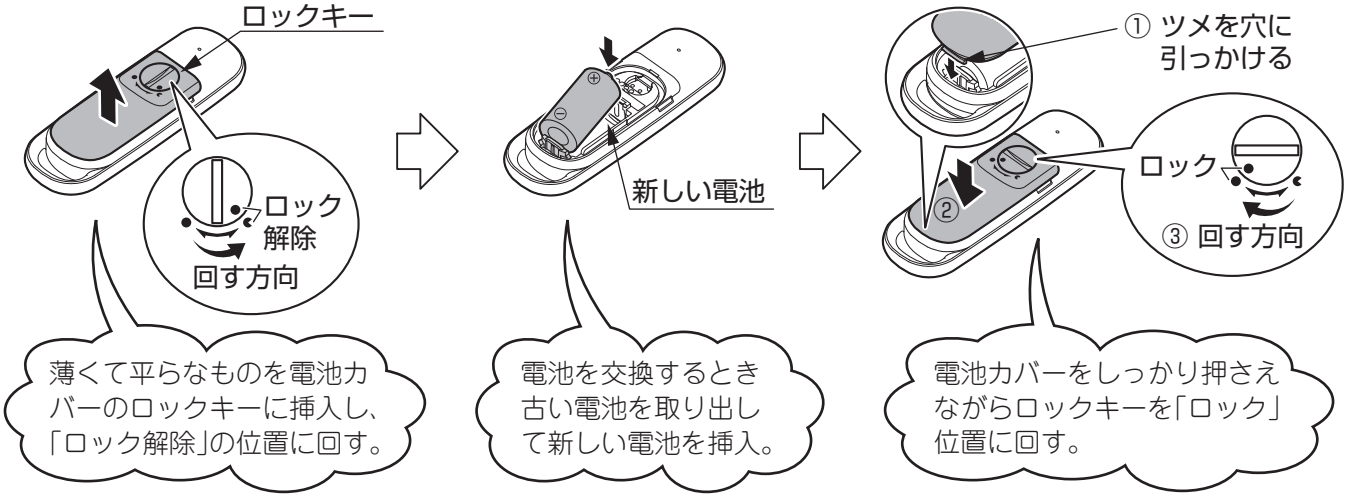
・積雪時には、下レールに積もった雪をかきだしてください。開閉ができなくなります。

電磁ロック お掃除：月に1度

補足
- 電磁ロックの吸着面が汚れると施錠時の保持力が低下します。
- 汚れたまま放置すると腐食の原因になります。



リモコン 電池交換

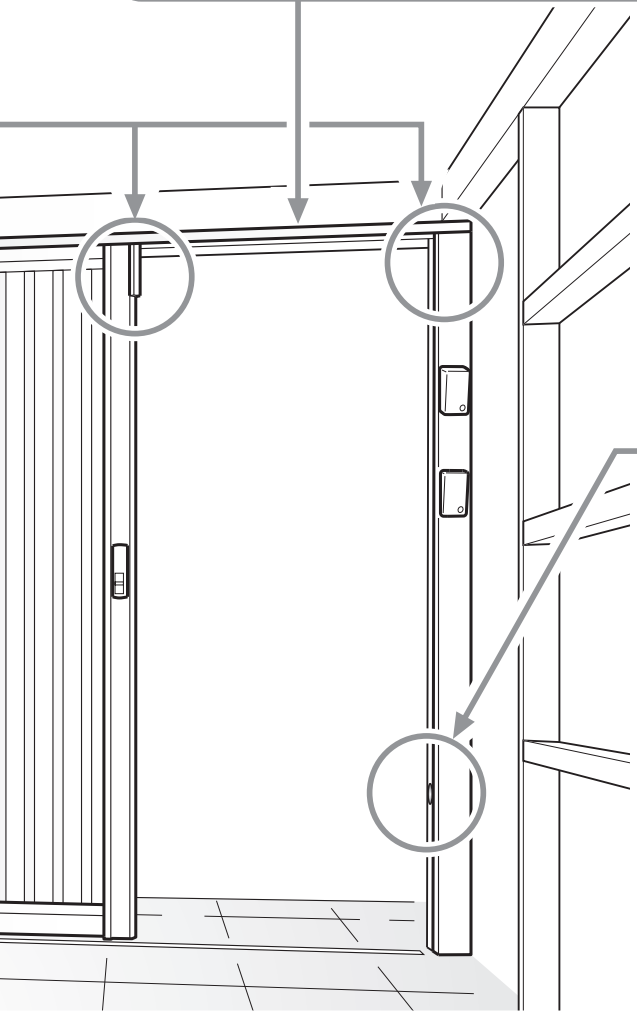


上レール お手入れ：定期的に

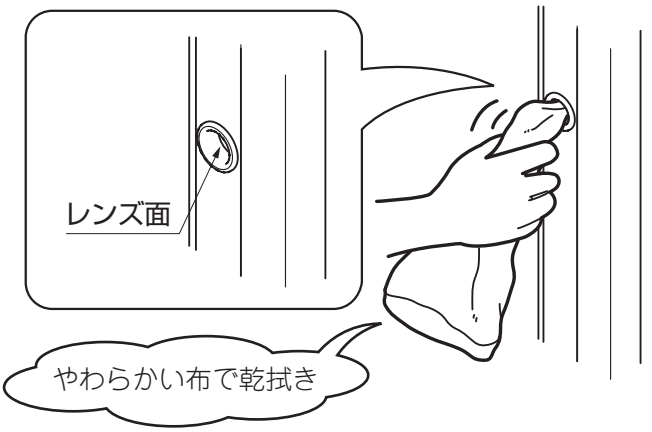
お願い

・上吊りローラーにはシリコーン系潤滑剤を塗布してください。
合成潤滑剤は使用しないでください。

合成潤滑剤



光電センサー お掃除：月に1度



補 足

・レンズ面が汚れていたり、センサー部に雪が積もっていると、誤った感知をし、吊引戸が停止することがあります。

お願い

・洗剤、溶剤は使用しないでください。製品の故障原因になります。

交換目安：1日8回の使用で約1年

お願い

※挿入／交換後、正常に機能させるために、次のことを必ずお守りください。
・電池の極性「+」・「−」を確認の上、正しくセットしてください。
・水分やほこり等が入らないようにし、回路部にはふれないでください。
・ぬれたり、汚れた手で電池をさわらないでください。電池の接触不良となります。
・電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしないでください。
・電極を曲げないでください。
・リモコン各部に異常や不具合が生じた場合には、むやみに分解や調整をせずに、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。

安全上のご注意

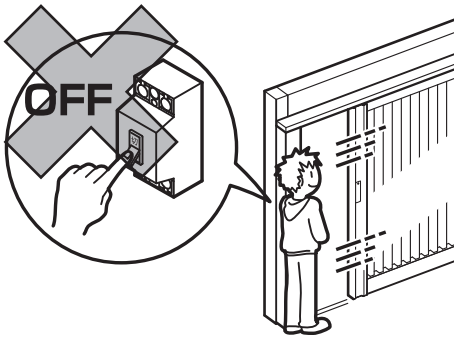
⚠警 告 吊引戸を開閉するときは…

禁 止

●車を運転しながら操作しない!

重大な事故につながるおそれがあります。

●途中で電源スイッチを切らない!



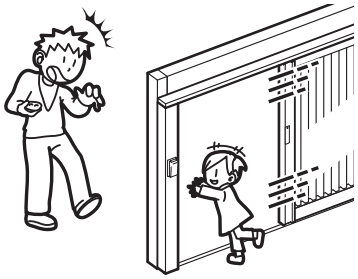
吊引戸が惰性(だせい)で動き、ケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。

必ず実行

●開閉は最後まで確認する!

人や物がパネルにはさまれるなど重大な事故につながるおそれがあります。

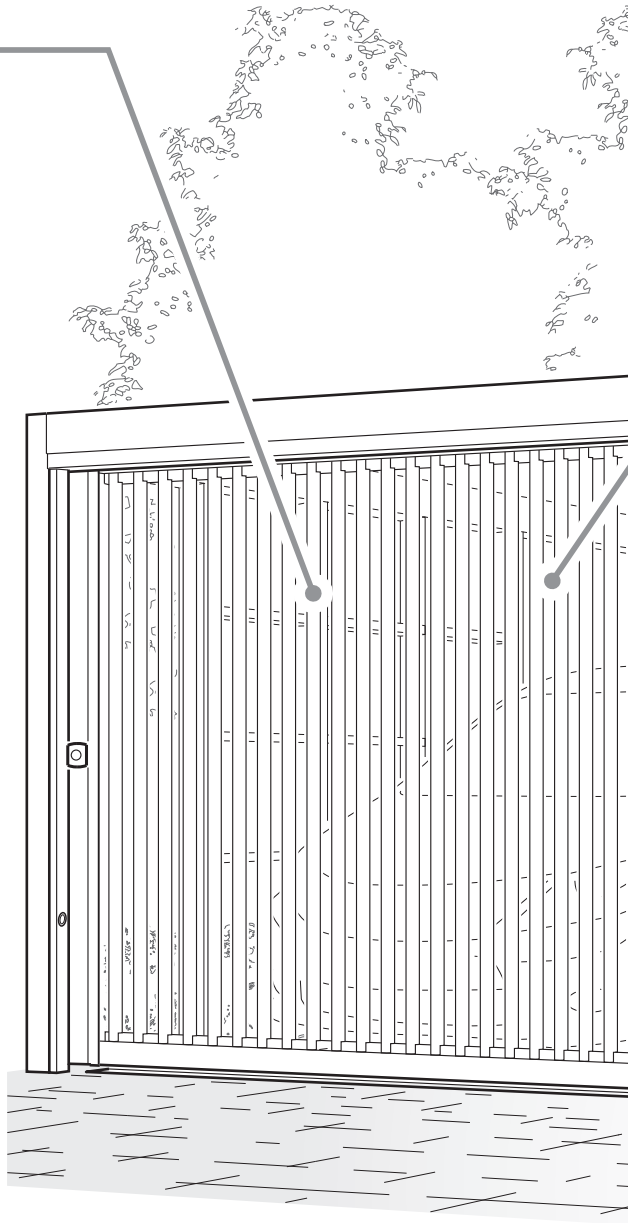
●人や障害物がないことを確認!



特に小さいお子様は、思わぬケガや事故につながりやすいため十分に注意してください。

●可動箇所には要注意!

手足や指をはさみケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠警 告 下レール

必ず実行

●定期的に清掃!

過負荷を検出して吊引戸が反転作動し、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

⚠警 告 吊引戸は…

禁 止

●ぶら下がり、よじ登り禁止!

部品の破損や故障の原因になり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

●修理や改造をしない!

吊引戸が倒れて思わぬケガや重大な事故につながるおそれがあります。

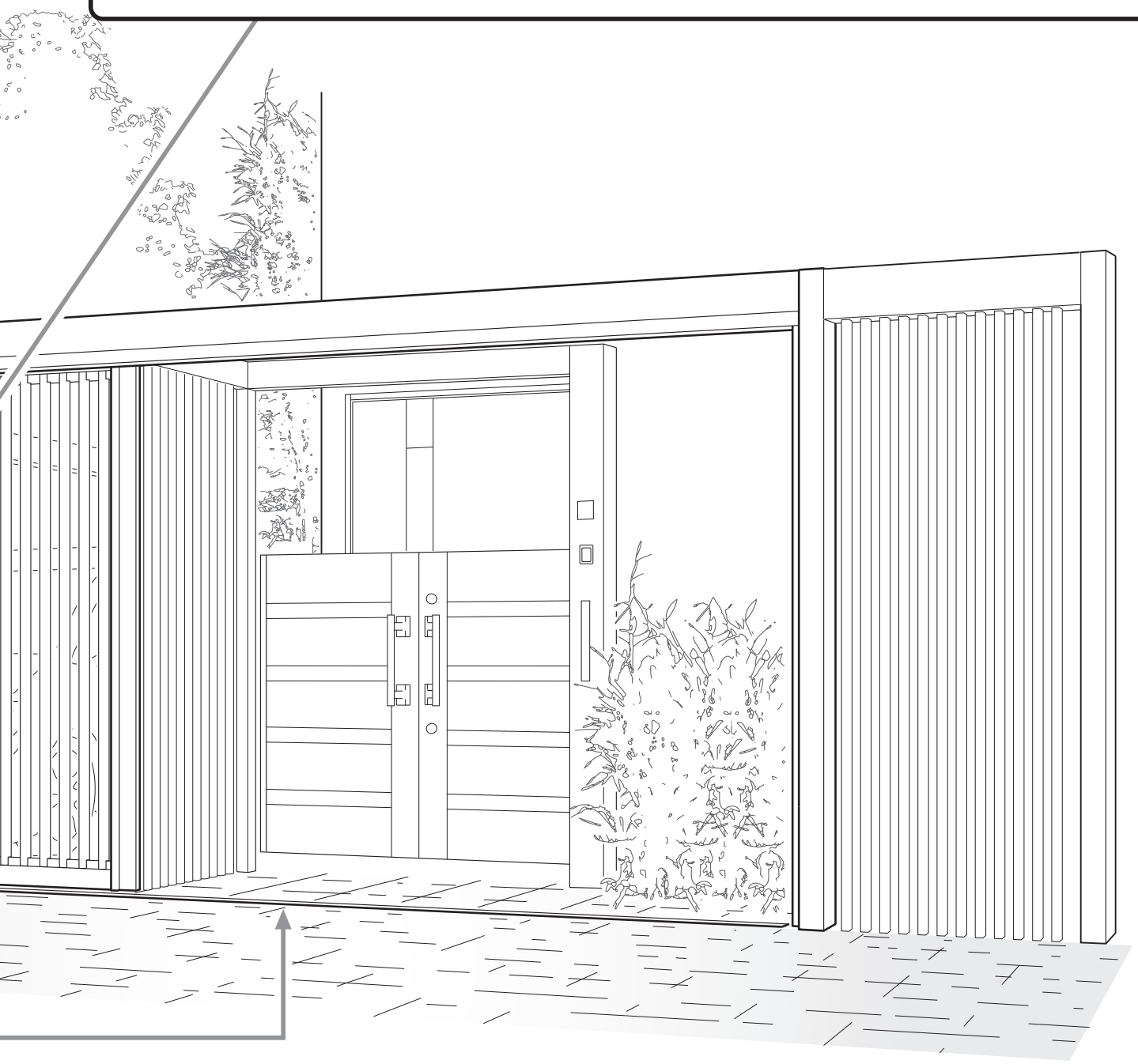
必ず実行

●開けたまま放置しない!
必ず1回ごとに閉める!

強風等で吊引戸が動き、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

●出入りを行なうときは、
吊引戸の動きが止まったことを確認!

吊引戸にはさまれて、ケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。



⚠警 告 リモコン

禁 止

●お子様の操作禁止!

ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

●温度が50℃以上になる車内などへの放置禁止!

電池の破裂や液漏れにより、火災の原因になるおそれがあります。

●雨で濡れる場所、濡れた場所に置かない!

電池の破裂や液漏れにより、火災の原因になるおそれがあります。

●目で確認できる位置で操作すること!

操作の際は障害物がないこと、その他周囲の安全を目視で確認してください。
特に小さなお子様がいないことを確認してください。

⚠警 告 錠

必ず実行

●停電時など手動で吊引戸を閉じた後は、必ず施錠!

強風等で吊引戸が動き、ケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警 告 押ボタンスイッチ

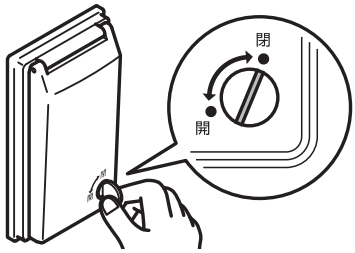
禁 止

●お子様の操作禁止!

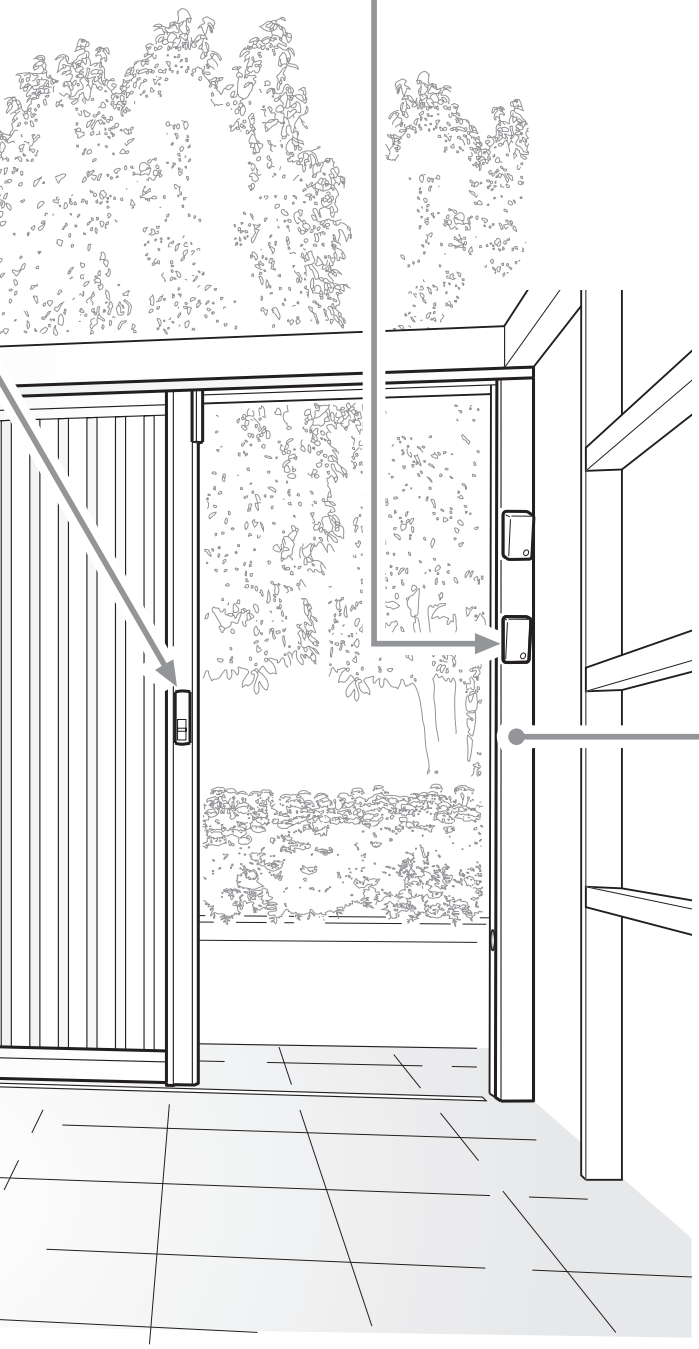
ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

必ず実行

●使用しない場合は施錠!



お子様が操作をして、誤って吊引戸にはさまれるなど重大な事故につながるおそれがあります。



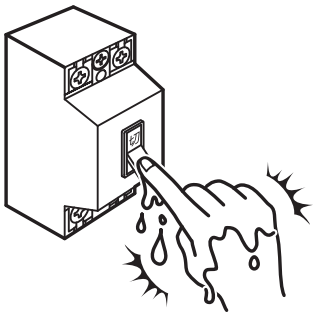
⚠警 告 電装ケース

禁 止

●配線は引っ張らない、挟み込まない!

断線や接触不良による製品の作動不良や故障、事故の原因になります。

●濡れた手でブレーカーを操作しない!



感電するおそれがあります。

●配線には手を触れない!

感電するおそれがあります。

●仕様以外の電流・電圧の電源は使用しない!

火災等につながるおそれがあります。

必ず実行

●電装ケース取外し、ブレーカー操作時には、ケガに注意!

カバーの切断面やエッジで思わぬケガの原因になります。

●電装ケースカバーはしっかりと押込んで!

電装ケースとカバーにすき間があると漏水し、製品の作動不良による事故や故障の原因になります。

故障かな!? と思ったら

●製品に異常が生じたときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

事前にお調べください

補足 ・ブレーカーを10秒以上切り電源をリセットして、正常復帰しないことを確認してから「点検」を行なってください。(P.8「電動操作への戻しかた」参照)

このようなとき	点　検	処　　置
押ボタンスイッチの操作、リモコンの操作、手動での操作でパネルが開閉できない	施錠していませんか	解錠してください (P.7「カギのあけかた、掛けかた」参照)
	吊引戸の通路上に障害物がありませんか	障害物を取除いてください (P.6「安全補助装置について」参照)
	下レール内に砂や小石などがたまっていませんか	砂や小石を取除いてください (P.12「下レール お掃除」参照)
	風が強くありませんか	風が弱まってから操作してください
押ボタンスイッチの操作、リモコンの操作でパネル開閉ができない	上記以外の内容では、電動装置の故障が考えられます。	ブレーカーを「切」にしてください (P.8「電源OFFのしかた」参照) 使用を中止して修理を依頼してください
	屋内の電源は入っていますか	屋内の電源を入れてください
	停電していませんか	手動操作で開閉してください
	ブレーカーが「切」になっていませんか	ブレーカーを「入」にしてください (P.8「電源OFFのしかた」参照) 再びブレーカーが落ちる場合は、修理を依頼してください
	光電センサーが障害物を検出していませんか	光電センサーが感知している障害物を取除いてください
	光電センサーのレンズ面が汚れていませんか	光電センサーのレンズ面を清掃してください (P.14「光電センサー お掃除」参照)
	電装ケース内部から異音・異臭がしませんか	ブレーカーを「切」にしてください (P.8「電源OFFのしかた」参照) 使用を中止して修理を依頼してください

このようなとき	点　検	処　　置
リモコンの操作で パネルが開閉できない	リモコンの操作方法が 間違っていませんか	「▲」または「▼」ボタンを２度押ししてください （P.５「リモコン操作のしかた」参照）
	リモコンの電池が 消耗していませんか （送信表示灯が点灯していますか）	新しい電池に交換してください （P.13「電池交換」参照）
	リモコンの電池の向きが 間違っていませんか	正しく取付け直してください （P.13「電池交換」参照）
	2台以上のリモコンから 同時に発信していませんか	同時に発信しないでください
	各種無線機、コードレス電話など 同時に使用していませんか	同時に使用しないでください
	操作位置が遠すぎませんか	到達距離以内で操作してください （P.22「仕様」参照）
	リモコンが受信器に登録 されていますか	リモコンを登録してください （P.9「リモコンの登録・登録抹消」参照）
施錠・解錠できない	キーが間違っていませんか	正しいキーを差込んでください

それでも直らないときは……

●お買い上げの販売店（工事店）または「お客さま相談センター」にお問い合わせください。

修理と保証

(1) 保証書について

●保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日) ▼	1年 ▼	2年 ▼
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

(3) 修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年　月　日	電話番号	
施工店名		その他	

●消耗品は寿命があり、有償保証となります。

(4) 点検および修理料金のしくみ

●修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
・部品代は、修理に使用した部品代です。
・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

(5) 交換用部品について

●お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ　**http://partsshop.lixil.co.jp/shop/**
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001 にご連絡ください。

仕 様

項　　目	仕　　様
入力電圧	AC100V（50／60Hz）
消費電力	0.54W／回
モーター	リニアDCモーター
開閉時間	約10秒
開閉方法	押しボタンスイッチ、リモコン
リモコン到達距離	約30m
補助センサー	近赤外線透過方式
作動温度	−10〜40℃

補 足

・リモコンの到達距離は、周囲の環境や電波障害などにより短くなることがあります。

Gリニア吊引戸　保証書

製造No.（商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL
〒136-8535　東京都江東区大島2-1-1

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング　ファニチャー&グッズ商品
4. **保証内容**
   取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング　ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
   ※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
6. **品質保証の免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
   ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
   ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
   ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
   ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
   ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
   ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is availed only in Japan.）

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、下記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで
http://www.lixil.co.jp/

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）
TEL.0120-126-001　FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）
TEL.0120-413-433　FAX.0120-413-436
http://www.lixil.co.jp/support/

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』（http://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧下さい。

取説コード
UD107
JZZ620706E
201004A_1039
202012F_1049